

# やる気発生装置

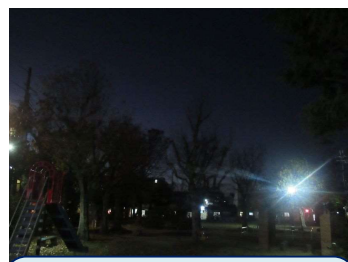
## 勝負のときを前に、夜空に願いを

中3生の学校の授業の進み具合を聞いてみると、理科では「化学変化とイオン」を終え「地球と宇宙」に入っているようです。1, 2年生のうち塾に理科を持ってくる頻度がやはり少ないですので、今ぐらいになって理科を見たり教えたりする機会が多くなってきます。僕はやはり宇宙の分野好きですから、年周運動の図を描いたりして説明するのが楽しみです。なお、来年からは理科の教科書が別会社のもに変わるため、ひょっとしたら学習する単元の順序に変化があるかも知れません。もし新しい教科書のページ順そのまま授業が進むなら、宇宙分野をやるのが中3の夏頃になります。その辺は来年になってみないとわかりにくいですがね。

きょう13日の夜から翌朝にかけて、「ふたご座流星群」の極大期になる予想が出ています。1年のうち特定の時期に、過去の彗星などが残っていたチリが多数残っているところに地球の公転軌道がさしかかると、それらのチリが大気圏に突入して流星になるんです。夜、塾の行き帰りくらいの時間に空を見ると、今頃なら東の空にオリオン座がよく見えますが、そのオリオン座の少し北側にある2つ並んだ星が「ふたご座」です。実際にはその付近だけではなく、夜空の広い範囲をゆっくり眺めると流星を見られるかも、ということです。ときには火球（かきゅう）といって、ものすごく明るく美しい光を見ることができます。僕は学生時代にちょっとだけ天体観測をやっていて、仲間と流星を眺めていたことがあるんですが、一瞬下を向いてラーメンをすすった瞬間に火球が飛んだらしくて悔しい思いをしたことがありました。こればかりは運とタイミングであります。

ことは月明かりがあって流星を見るには条件的にいまいちで、曇っている可能性もありますが、もし晴れていたら、中3生は理科で学んだことを復習しつつ空を眺めてみるのも、また人生の岐路を迎えようというときに秘めた願いを流星に託してみるのもいいかも知れません。なにぶん寒いですので、屋外で無理をしないようにしてくださいね。

中1生以降の話になりますが、公立高校の新しい入試制度について、きのう追加発表がありました。気になる人も多いはずですので、来週改めて説明と、受験に向けての注意点をお伝えしようと思います。



冬の夜空はこのほか澄んでいて美しく、慌たしい日常を離れて眺めるチャンスなのですが、寒いので無理なきようお願いします。

新しい入学選抜制度(案) 説明動画



まだ最終決定ではありませんが、現在の中1生からの公立高校入試について、だいたいの方向性が示されたと言っていいでしょう。今から心がけたいこと等もありますので、順次お伝えしていきます。

### 当面の教室予定

**12/13(金)**

16:00~22:00

**12/14(土)**

10:00~12:00

(午後はお休みです)

**12/15(日)**

16:00~21:00

**12/16(月)~12/20(金)**

16:00~22:00

※21時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させていただきます。

※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。